

新型コロナウイルスワクチン接種の即時中止を求める請願

(福祉健康委員会付託)

受 理 番 号 第 1 1 号

受理年月日 令和 5 年 6 月 1 9 日

付託年月日 令和 5 年 6 月 3 0 日

請 願 者

紹 介 議 員 五十嵐 まさお

請 願 原 文 新型コロナウイルス感染症の蔓延から 3 年が経過し、ワクチン接種においては現在も深刻な影響を受けています。諸外国では 3 回目以降のワクチン接種は進んでいませんが、日本では未だにワクチン接種の推奨を継続し、接種券の配布が行われています。結果、日本の新型コロナウイルス陽性者数（1 週間合計）とワクチン接種率は世界一となりました。

ワクチン接種による死亡、副反応、後遺症被害は日々増加しています。本来ならばマスコミを通じて報道されるべき情報が一切国民へ周知されていないのが現状です。

令和 5 年 3 月 2 8 日、世界保健機構（WHO）は新型コロナウイルスワクチンの接種指針を見直し、健康な人への追加接種について有益性が限定的だとして 2 回目以降の接種を推奨しないとしています。WHO の予防接種に関する戦略諮問委員会 は新指針について新型コロナウイルス変異株（オミクロン株）が主流となったことの影響に加え、感染とワクチン接種によって獲得された集団免疫を考慮したと説明しています。日本では、令和 5 年 5 月 8 日から感染症 2 類相当から 5 類感染症に変更になりました。

mRNA ワクチンはこれまでのワクチンとはメカニズムが全く異なる遺伝子ワクチンであり、体内でどのような作用をするかも分からず、効果や長期的な安全性も確立されていません。また、ワクチン接種による死亡報告はインフルエンザワクチンの約 5 0 倍と報告されています。なお、健康な子どもや若者にとって重症化することは極めて稀なものであることが判明しています。大きな危険性のあるワクチンを未来ある子どもへ接種する必要性は低いと考えられます。病気の治療ではなく、健康な人に対して行う予防接種であるにもかかわらず、歴史上類を見ない薬害であり、このまま接種を続ければ今後さらに被害が拡大し、将来的な国家の存亡に関わる重き事態であると推測します。

(裏面に続く)

つきましては、国民の命と健康を守るため新型コロナウイルスワクチンの接種に関して、下記のとおりお願いいたします。

記

- 1 現行の新型コロナウイルスワクチン接種を即時中止して下さい。
- 2 個人に対して行政から接種券の配布を中止して下さい。
- 3 新型コロナウイルスの被害は大きく伝えられましたが、ワクチン接種後に起こった副反応、後遺症、死亡者数の報告については、ほとんど報道されてきませんでした。また、ワクチン接種後に副反応、後遺症で苦しんでおられる方が増加しているため、江戸川区のホームページへ以下の情報を掲載して下さい。また、チラシを全戸へ配布して下さい。
 - (1) 全国のワクチン接種による健康被害件数とその事例、死亡者数。
 - (2) 後遺症に対応している全国の病院の一覧。